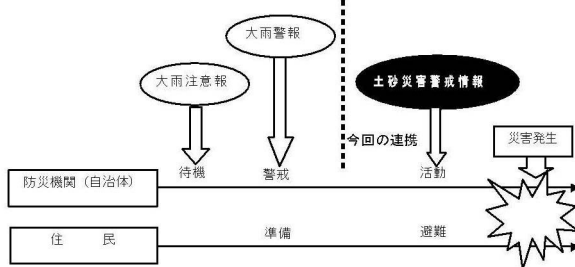


# 土砂災害警戒情報概要資料

## 土砂災害警戒情報とは

大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時、市町村長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、県と気象台が共同で発表する新たな防災情報です。

情報の出る順番： 大雨注意報      大雨警報      **土砂災害警戒情報**

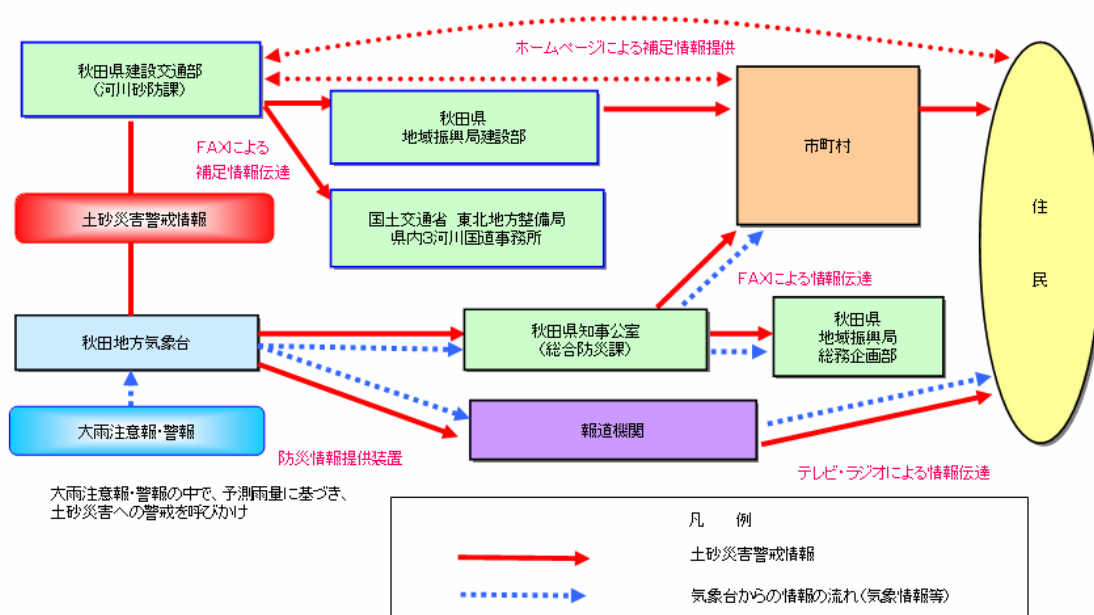


土砂災害警戒情報の発表タイミング

## 土砂災害警戒情報の伝達経路

情報伝達は、土砂災害の危険度が高まった場合に、県と気象台が内容を確認し、秋田地方気象台から県・気象台合同で警戒情報が発表されることとなります。警戒情報は従来の大雨注意報・警報と同様に、報道機関へ発表されるとともに、既設の防災回線を通じて県総合防災課へ送信され、それぞれ関係する市町村等へ情報が伝達されます。

図-1 土砂災害警戒情報伝達フロー（案）



## 土砂災害警戒情報の伝達内容

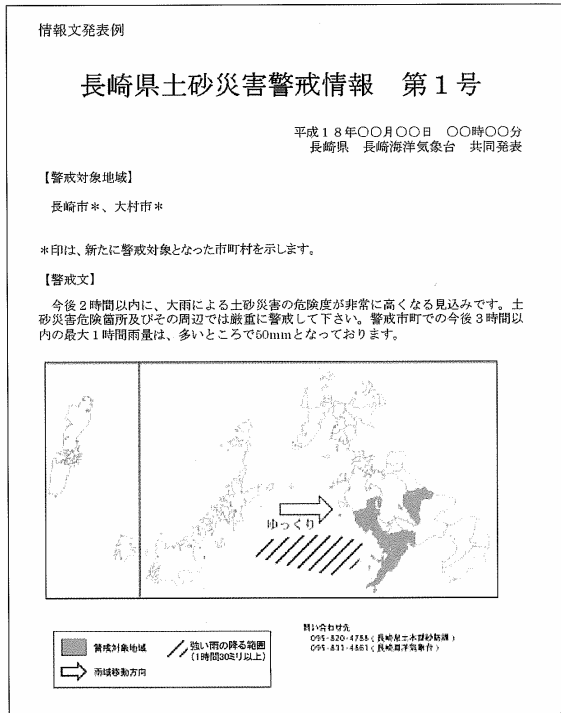


図 - 2 FAXによる情報伝達の例  
(気象台 県総合防災課 市町村への伝達)

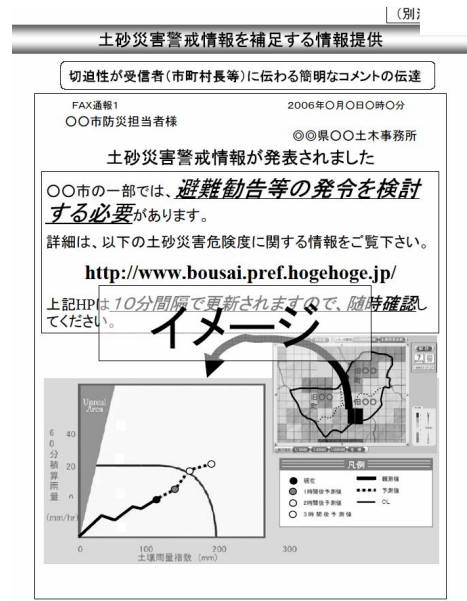
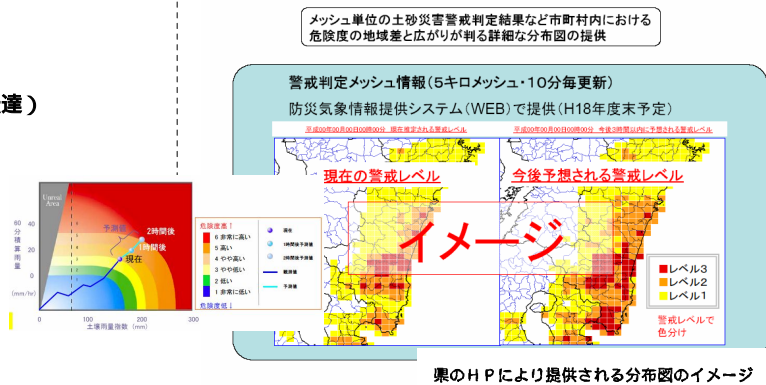


図 - 3 FAXによる補足的な情報提供の例  
(県河川砂防課 地域振興局建設部 市町村)

図 - 4 HP等による補足的な情報提供の例  
(県河川砂防課 市町村・住民等)



県のHPにより提供される分布図のイメージ

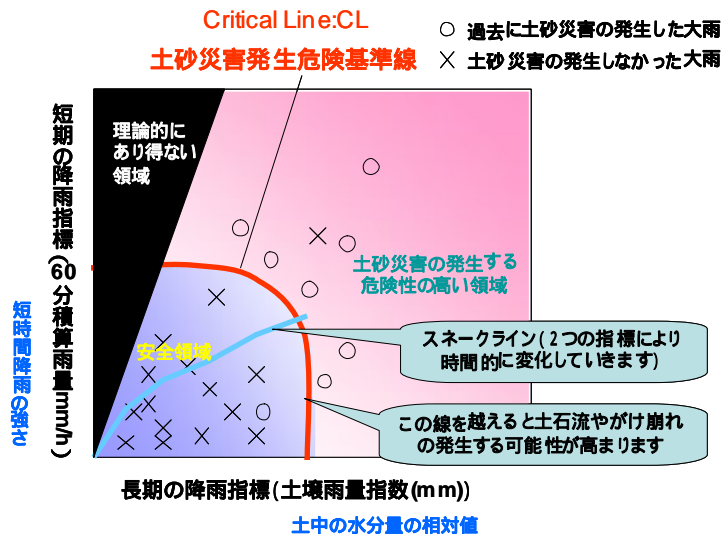
## 土砂災害警戒情報の判定基準

土砂災害の危険度を判定するため、地区毎に土砂災害危険基準線を設定することになります。

これは、長時間の指標(土壌雨量指数)と短時間の指標(60分間雨量)の2種類の指標を用い、土砂災害の危険性を判定するものです。

基準値を越えた場合、土砂災害警戒情報の発表を検討することになります。

## 土砂災害発生危険基準の設定概念 図 - 5



## 運用までのスケジュール

今後、試行運用を実施し、情報伝達が的確におこなわれるか確認するとともに、検討委員会にて専門家や関係機関の意見を伺いながら、来年度の本運用に向けて作業を進めていきます。

### 平成18年度のスケジュール

年度	時期	実施内容
平成18年度	5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 基準値検討</li> <li>■ システム等整備方針検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存システムと回線を使用する効率的な整備方針検討</li> </ul> </li> <li>■ 運用方針検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝達体制の検討</li> </ul> </li> </ul>
	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 土砂災害警戒情報検討委員の選定、委嘱、日程調整</li> <li>各委員への説明</li> </ul>
	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第1回土砂災害警戒情報検討委員会の開催                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害警戒情報の概要説明</li> <li>・土砂災害発生危険基準（CL）設定方法</li> <li>・土砂災害発生危険基準（CL）設定案の提示</li> <li>・土砂災害警戒情報の発表の時期</li> <li>・土砂災害警戒情報の解除の時期</li> <li>・土砂災害警戒情報の発表単位の検討</li> </ul> </li> </ul>
	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ システム整備</li> <li>■ 試行運用に向けての準備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・气象台～県間の回線整備</li> <li>・端末等の整備、調整</li> <li>・補足情報の検討、整備</li> </ul> </li> </ul>
	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第1段階試行運用</li> <li>■ 県（砂防）と气象台間の試行運用                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の大雨事例を基に実施</li> </ul> </li> <li>■ 試行運用結果解析                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝達手順等の確認</li> </ul> </li> <li>■ 第2段階試行に向けて基準案検討・準備</li> <li>■ 全州市町村説明会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明及び意見交換により認識の共有化</li> </ul> </li> </ul>
	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第2段階試行運用</li> <li>■ 県（砂防、総合防災）、气象台及び全州市町村間の試行運用                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の大雨事例を基に実施</li> </ul> </li> <li>■ 試行運用結果解析                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝達に係る課題抽出</li> <li>・第3段階試行に向けて基準案検討・準備</li> </ul> </li> <li>■ 第2回土砂災害警戒情報検討委員会の開催                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害発生危険基準（CL）の検証結果の報告</li> <li>・土砂災害発生危険基準（CL）の決定</li> <li>・土砂災害警戒情報の発表単位案の提示</li> <li>・土砂災害警戒情報の暫定運用開始の承認</li> <li>・市町村、住民への情報提供方法についての意見・助言</li> </ul> </li> </ul>

## 平成19年度のスケジュール

年度	時期	実施内容
平成19年度	4～5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本運用のための協定類の締結と広報等の実施</li> <li>県と気象台の連携情報に関する協定締結</li> <li>全県市町村説明会                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明及び意見交換により認識の共有化</li> </ul> </li> </ul>
	5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ システム整備</li> <li>本運用に向けての準備                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・切迫性の分かる補足情報の整備</li> </ul> </li> </ul>
	6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第3段階試行運用</li> <li>県（砂防、総合防災）、気象台及び全市町村間の暫定運用                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の豪雨時に実施（発生しない場合は試行運用で対応）</li> </ul> </li> <li>試行運用結果解析                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終的な課題抽出及び防災対応への実効性を確認</li> <li>・本運用試行に向けて基準案検討・準備</li> </ul> </li> </ul>
	7～8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第3回土砂災害警戒情報検討委員会の開催                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・出水期降雨による土砂災害発生危険基準（CL）の検証結果の報告</li> <li>・土砂災害発生危険基準（CL）の見直し設定案の提示</li> <li>・土砂災害警戒情報運用方法の見直し設定案の提示</li> <li>・土砂災害警戒情報の本運用開始の承認</li> </ul> </li> </ul>
	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本運用</li> <li>（市町村アンケート調査、取りまとめ）</li> <li>（市町村意見の集約）</li> <li>（土砂災害発生危険基準（CL）の状況把握）</li> <li>（土砂災害警戒情報検討委員会）</li> </ul>

## 今年度～運用までのスケジュール

### 発表後の体制

土砂災害警戒情報発表後は、市町村等関係機関において、巡視点検や兆候の有無の確認、避難勧告・避難指示を検討し、早期の警戒避難体制を確立することによって、土砂災害による人的被害の回避に繋がっていきたいと考えております。

